

# 2024年2月期 第3四半期決算説明資料

2024年1月15日

株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス（証券コード：2884）

- | 1 2024年2月期 3Q決算ハイライト
- | 2 2024年2月期 3Q決算詳細
- | 3 トピックス
- | 4 Appendix

# 2024年2月期 3Q決算ハイライト



## 売上高

前年同期比

346.4 億円

+35.7 %

- M&Aによりグループ化した企業（6社）が貢献
- 海外事業は、コロナからの回復によりホテル及び飲食店向けの売上が増加し、増収

## 調整後営業利益

前年同期比

14.9 億円

+107.5 %

- 調整後営業利益は前年同期比**2.1倍**に増加
- 国内事業は、価格改定及び生産効率化の効果により増益
- 海外事業は、売上の回復に伴い増益
- M&Aによりグループ化した企業（6社）が貢献

(注) 調整後営業利益 = 営業利益 + M&A取得関連費用

## EBITDA

前年同期比

26.6 億円

+77.1 %

- EBITDAは前年同期比**1.8倍**に増加

(注) EBITDA = 営業利益 + 償却費（減価償却、のれん）+ コロナ関連補助金収入 + M&A取得関連費用

## 税引前当期純利益

前年同期比

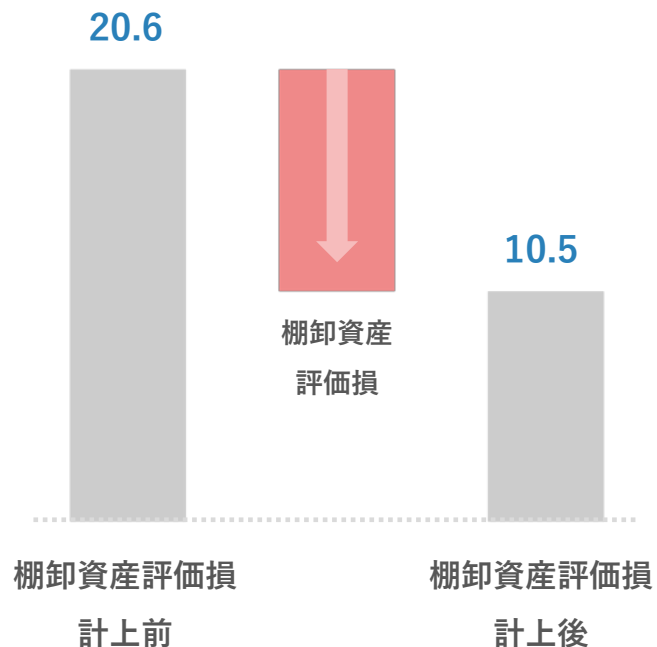
10.5 億円

▲14.1 %

- マルキチにおいて棚卸資産評価損（1,012百万円）を計上

## 連結税引前当期純利益

単位：億円



1. 処理水放出によりホタテの市場価格が下落しており、マルキチの棚卸資産の価値を保守的に時価にまで評価替えを実施（評価損1,012百万円計上）
2. 東京電力からの賠償金により損失を補填する予定
3. 2024.2期4Q以降、市場価格が回復することで営業利益、税引前利益も回復する見込み

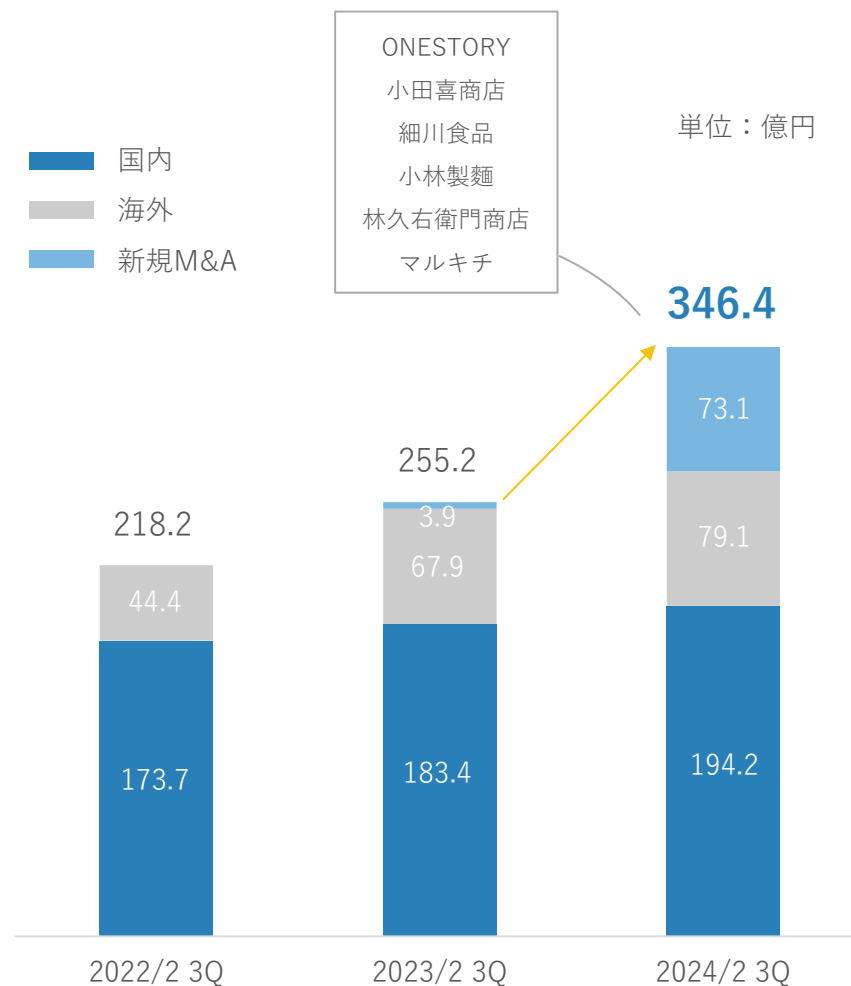
## 新規M&A企業の貢献、海外企業の売上回復により増収

売上高

前年同期比

346.4 億円 +35.7 %

- 新たにM&Aにより加わった6社（ONESTORY、小田喜商店、細川食品、小林製麺、林久右衛門商店、マルキチ）が寄与したことで増収。
- 国内事業は、販売事業において、既存販売先へ営業を強化したことで増収となり、製造事業においては、価格改定による増収効果等により増収となった。
- 海外事業は、新型コロナウイルスの影響が減少したことで、引き続き販売事業、製造事業共に増収となる。特に、シンガポールにおいて観光客数が回復し、ホテルや飲食店の需要増加に伴い Pacific Sorbyの売上が大幅に増収となる。



(注) ONESTORYは2023/2期2Qより、小田喜商店は2023/2期3Qより連結決算への損益の取り込みを開始。

## M&A取得関連費用を加算した調整後営業利益は14.9億円（前年同期比+107.5%）となり、引き続き好調に推移

### 調整後営業利益

前年同期比

**14.9** 億円 **+107.5** %

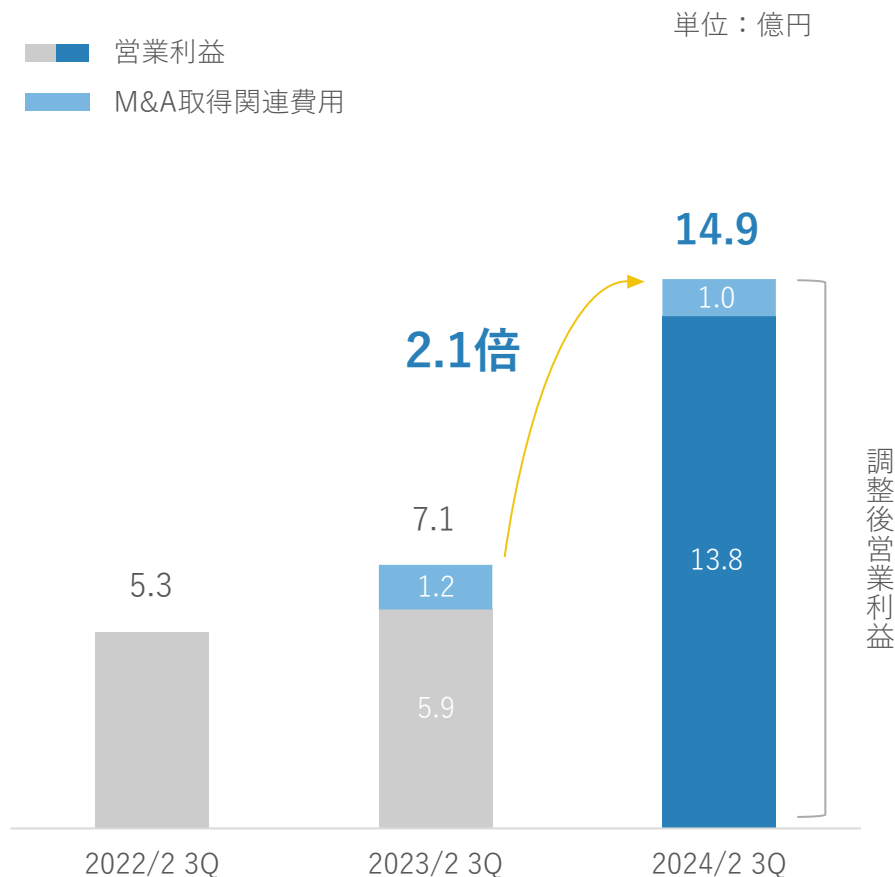
(注) 調整後営業利益 = 営業利益 + M&A取得関連費用

- 国内事業は、原材料価格高騰に伴い価格改定を行った効果や、利益重視の戦略により不採算取引の停止、生産品目の削減を図ったことに加え、一部企業における競争環境の変化により増益となった。
- 海外事業は、コロナからの回復により売上が増加したことで増益となった。
- 新たにM&Aにより加わった企業も貢献。
- 1Q~3Qにおいて、一時費用であるM&A取得関連費用101百万円を計上（前年同期比▲23百万円）。

### 営業利益

前年同期比

**13.8** 億円 **+134.0** %



経常利益は営業利益が増加したことで増加。為替差益が前年同期比で208百万円減少。

## 経常利益

前年同期比

**19.3** 億円

**+54.2 %**

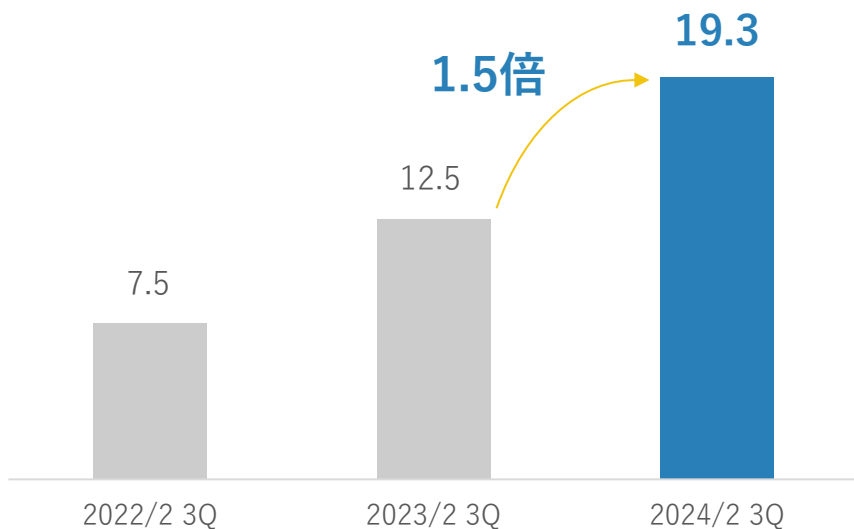
## EBITDA

前年同期比

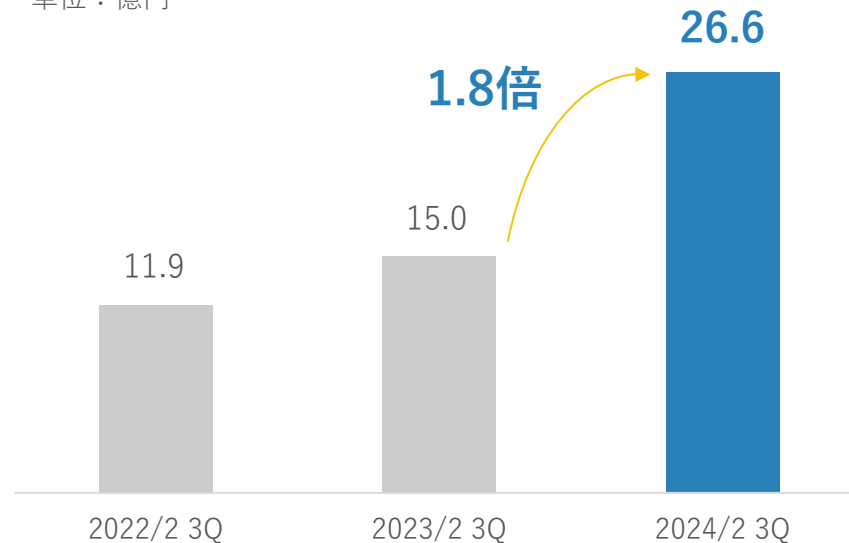
**26.6** 億円

**+77.1 %**

単位：億円



単位：億円



(注) EBITDA = 営業利益 + 償却費 (減価償却、のれん) + コロナ関連補助金収入 + M&A取得関連費用



# 2024年2月期 3Q決算詳細



## 自己資本比率は、M&Aにより借入金が増加したこと等により前期末比▲8.4%

(カッコ内は前期末比)

- 現金及び預金 (+44億円)
- 受取手形及び売掛金 (+25億円)  
マルキチ及びワイエスフーズをグループ化したことによる増加
- 棚卸資産 (+51億円)  
マルキチ及びワイエスフーズをグループ化したことによる増加
- 有形固定資産 (+39億円)  
マルキチ及びワイエスフーズをグループ化したことによる増加
- のれん (+52億円)  
マルキチ及びワイエスフーズをグループ化したことによる増加



- 借入金及び社債 (+138億円)  
マルキチ及びワイエスフーズをグループ化したことによる増加

- 長期借入金及び社債 (+61億円)  
M&Aによる借入金の増加

**自己資本比率**

**15.0%**  
(▲8.4%)

(注) 億円未満は切り捨てて表記しているため、貸借の合計額は一致いたしません。

## 既存企業のオーガニックな成長に加え、 新規M&Aによりグループ化した企業の損益取り込みにより増収増益

2023年2月期 3Q

2024年2月期 3Q

前年同期比

単位：百万円

	2023年2月期 3Q		2024年2月期 3Q		前年同期比
		構成比		構成比	
売上高	25,526	100.0%	34,645	100.0%	+ 35.7%
売上総利益	5,196	20.4%	6,995	20.2%	+ 34.6%
販管費	4,602	18.0%	5,606	16.2%	+ 21.8%
営業利益	593	2.3%	1,389	4.0%	+ 134.0%
経常利益	1,253	4.9%	1,933	5.6%	+ 54.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	638	2.5%	589	1.7%	▲ 7.7%
EBITDA	1,507	5.9%	2,669	7.7%	+ 77.1%

- 販管費  
売上の増加に伴い売上高販管費率が減少。新規M&A企業の販管費率が低いことも影響
- 為替差益  
2023/2期 3Q 511百万円  
2024/2期 3Q 303百万円  
差額 ▲208百万円
- 受取保険金  
2024/2期 1Qにおいて、NKRが保険金211百万円を受領したため特別利益に計上
- 棚卸資産評価損  
マルキチにおいて棚卸資産評価損1,012百万円を計上

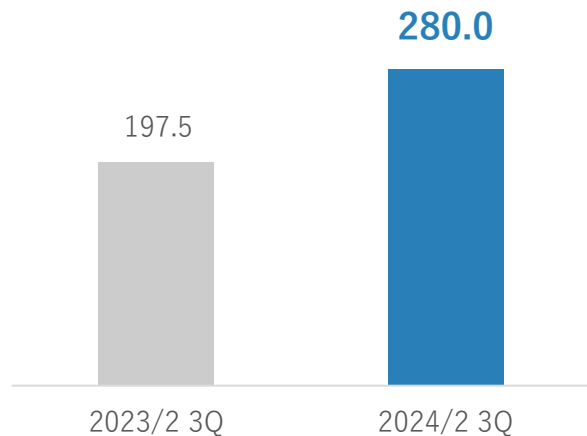
(注) EBITDA = 営業利益 + 償却費 (減価償却、のれん) + コロナ関連補助金収入 + M&A取得関連費用

単位：億円

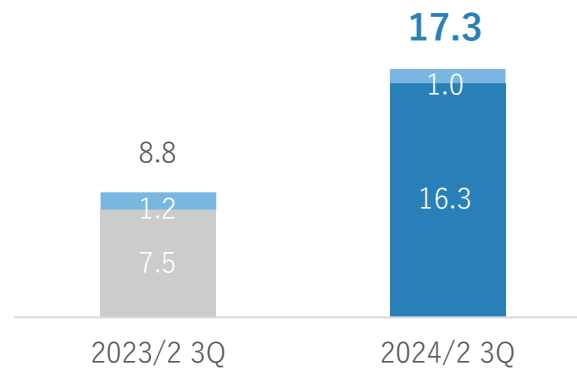
## 売上高

## 調整後営業利益

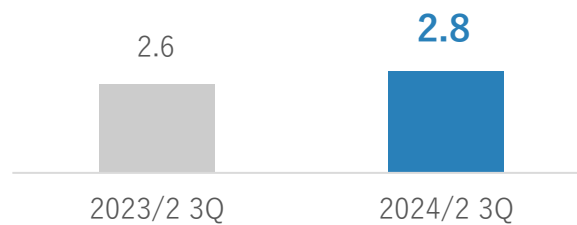
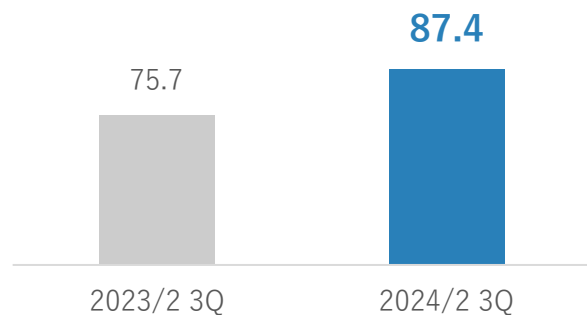
国内



■ 営業利益  
■ M&A取得関連費用



海外



(注) 売上高は、セグメント間の取引が含まれています。

(注) 営業利益は、のれん償却額等を含めていません。  
調整後営業利益 = 営業利益 + M&A取得関連費用

# 売上高の状況（セグメント別）

## 新規M&A企業、海外におけるコロナ規制緩和、国内における価格改定等により増収

	2023年2月期 3Q	2024年2月期 3Q	前年同期比	単位：百万円
<b>製造事業セグメント</b>	<b>19,123</b>	<b>27,391</b>	<b>+43.2%</b>	
マルキチ	-	4,506	-	■ マルキチは当期1Qより連結開始
楽陽食品	3,234	3,638	+12.5%	■ 楽陽食品は価格改定効果および販促強化により増収
Pacific Sorby	1,997	2,803	+40.4%	
NKR	2,571	2,590	+0.8%	
オーブン	1,943	2,155	+10.9%	■ Pacific Sorbyはコロナからの回復により大幅に増収
エスケーフーズ	2,017	2,034	+0.8%	
その他（16社）	8,062	10,488	+30.1%	■ その他（16社）には、マルキチ以外の新規M&A企業5社を含む
<b>販売事業セグメント</b>	<b>6,214</b>	<b>6,944</b>	<b>+11.7%</b>	
ヨシムラ・フード	3,918	4,536	+15.8%	■ ヨシムラ・フードは営業強化により増収
Sin Hin	1,692	2,022	+19.5%	■ Sin Hinはコロナからの回復により増収
ジョイ・ダイニング・P	1,077	1,016	▲5.6%	
<b>その他事業セグメント</b>	<b>187</b>	<b>310</b>	<b>+65.2%</b>	
<b>合計</b>	<b>25,526</b>	<b>34,645</b>	<b>+35.7%</b>	

(注) 個別の業績につきましては、セグメント間の取引が含まれているため、各個別業績の合計とセグメント別の数値は一致いたしません。

# トピックス



## 東京電力は、処理水放出により被害が発生している企業に対して以下の概要により賠償金を支払うと発表

### 1. 輸出関連事業者（輸出に伴う損害を被った事業者）向け

#### 対象となる損害

- 処理水放出に伴う輸出先国の輸入拒否等によって、現実に廃棄・転売等または生産・製造の断念等を余儀なくされたことによる減収が生じた場合

#### 賠償金の計算方法

- 逸失利益 + 検査費用 + 追加的費用 - 補助金・損害保険金等

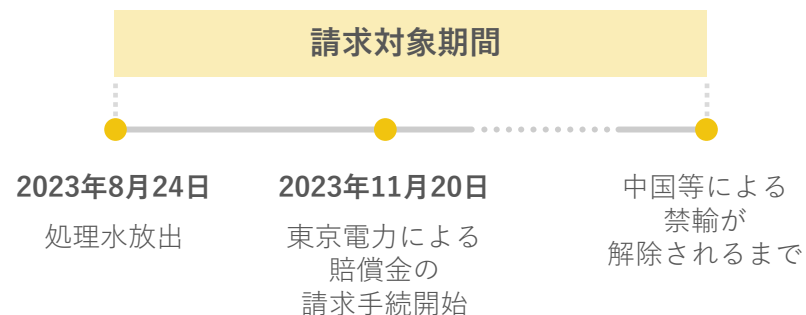
### 2. 水産加工業・水産卸売業向け

#### 対象となる損害

- 処理水放出による風評被害によって生じた逸失利益及び追加的費用

#### 賠償金の計算方法

- 逸失利益 + 追加的費用



#### 逸失利益

処理水放出がなければ得られたであろう収益と実際に得られた収益との差額から、処理水放出がなければ負担していたであろう費用と実際に負担した費用との差額（処理水放出により負担を免れた費用）を控除した額

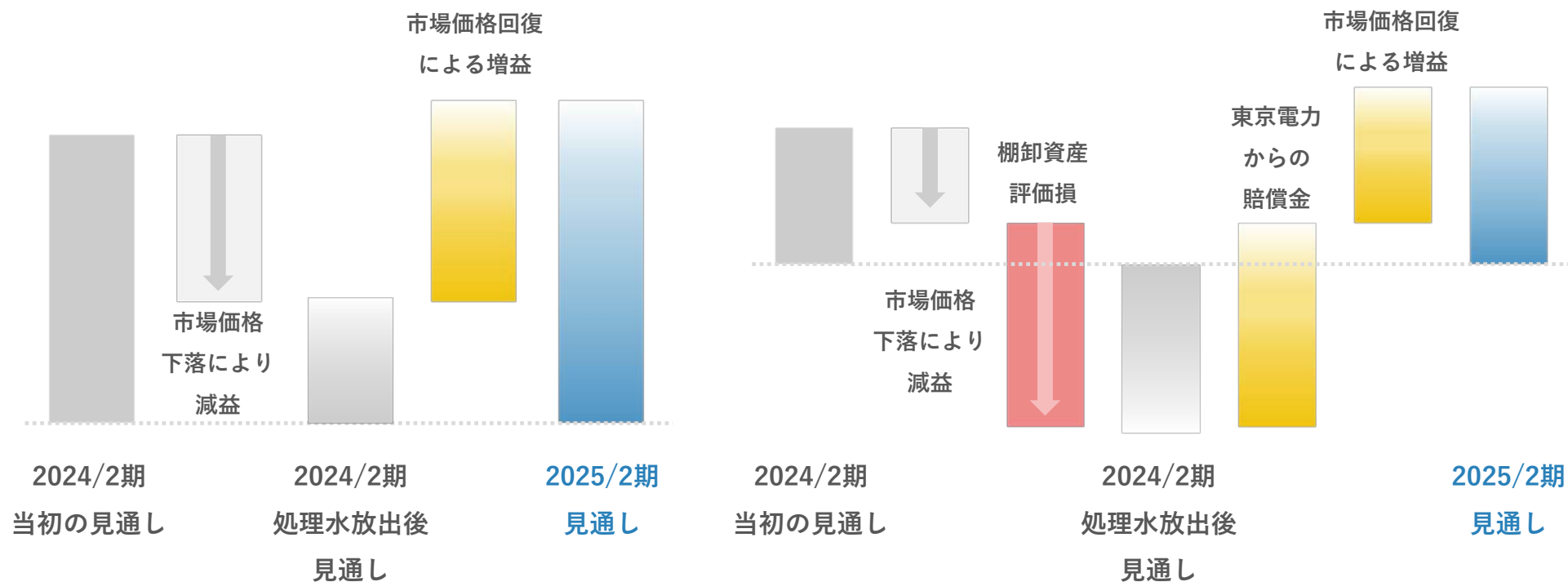
マルキチ、ワイエスフーズは賠償金の受給対象となる見込み。東電への賠償金申請書類に記載された逸失利益の説明から、処理水放出により発生した損害は、賠償金により補償されると考えられる。

# 中国の禁輸によるマルキチの業績見通しについて

- 処理水放出によりホタテの市場価格が下落  
当3Q末において、棚卸資産の価値を保守的な時価へ評価替え（特別損失1,012百万円を計上）
- 東京電力が発表した賠償金を請求することで損失を補填する予定
- 2024年2月期4Q以降市場価格が回復することで、営業利益、税引前利益は増益となる見込み

### 営業利益（マルキチ）

### 税引前利益（マルキチ）

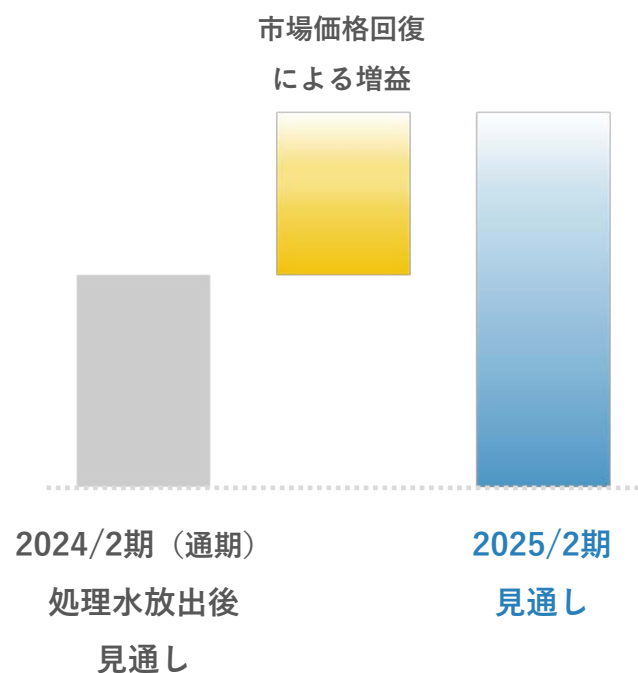




# 中国の禁輸によるワイエスフーズの業績見通しについて

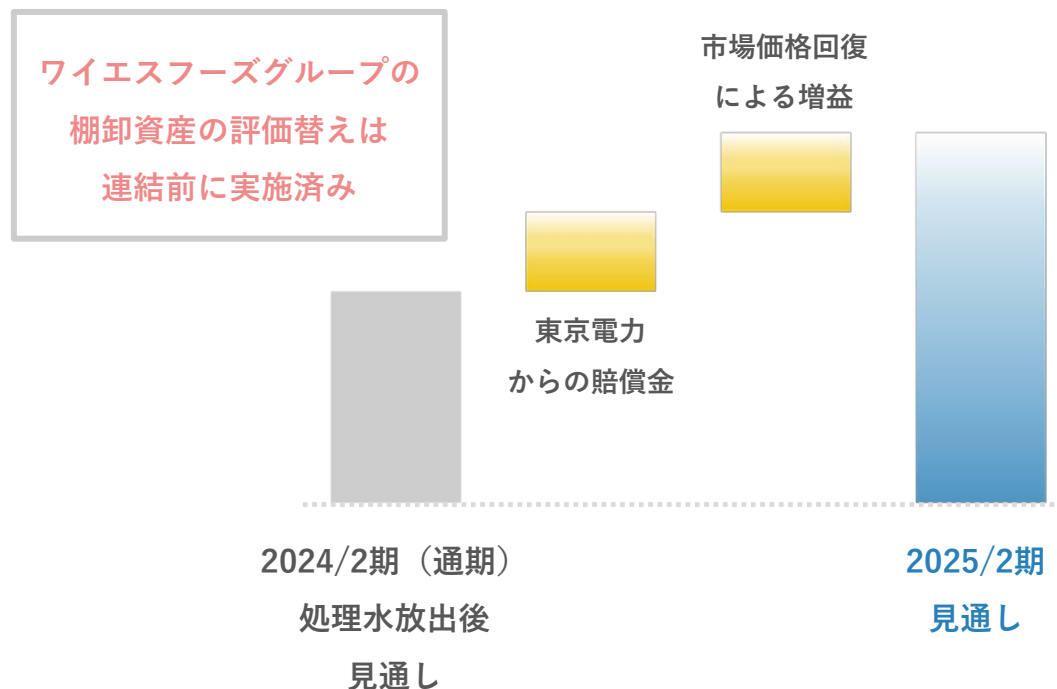
- ワイエスフーズは、連結時に棚卸資産の簿価を時価へ修正（連結取り込み時に評価損を計上したため、連結後のPLへ影響なし）
- 東京電力が発表した賠償金を請求することで損失を補填する予定
- 2024年2月期4Q以降市場価格が回復することで、営業利益、税引前利益は増益となる見込み

営業利益（ワイエスフーズ）



（注）2023年3月～2024年2月の12ヶ月と仮定

税引前利益（ワイエスフーズ）



（注）2023年3月～2024年2月の12ヶ月と仮定

# Appendix



## MISSION

いつまでも、この“おいしい”を楽しめる社会へ

～消費者が多様な食文化を享受できる豊かさの実現～

- 私たちは、人々が、多種多様な選択肢から自分の嗜好に合わせて自由に選択でき、それが尊重される社会こそ、豊かで幸せであると考えます。
- 私たちは、世界中の消費者が、多種多様で高品質な“おいしい”を自由に選択し、それを楽しめる豊かな社会を目指してまいります。

## VISION

地域の“おいしい”を守り、育て、世界へ

- 私たちは、「いつまでもこの“おいしい”を楽しめる社会」を実現するため、日本および世界で大切にされてきた“おいしい”を見つけ、守り、育て、世界へと届けてまいります。
- そのために、私たち独自の“おいしい”を見つける目利き力、“おいしい”を守る事業基盤、“おいしい”を育てる支援機能、“おいしい”を世界へと届ける販売網を構築してまいります。
- その結果として、世界の食文化と多様化、地域社会の活性化を推進するグローバルプロデューサーとなります。

## VALUES

「あなた“らしさ”を大切にします」

- 私たちは、私たちに関わる全ての方のあなた“らしさ”を大切にします。
- 私たちは、私たちのグループで働く社員の“個性”、“新しい発想”、“チャレンジ精神”を大切にします。
- 私たちは、私たちのグループ企業が持つ“歴史”、“文化”、“社員”、“取引先”、“地域社会”を大切にします。
- 私たちは、私たちのグループ企業が持つ“強み”を伸ばし、“弱み”を補い合い、共に成長してまいります。
- 私たちは、私たちに関わる全ての方の“らしさ”を大切にしたら結果、多様な選択肢のある豊かな社会づくりに貢献します。

# 会社概要

- **社名** 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス
- **設立** 2008年3月18日
- **代表者** 代表取締役CEO 吉村 元久
- **本社** 東京都千代田区内幸町2-2-2  
富国生命ビル18階
- **資本金** 1,114百万円（2023年2月末現在）
- **主要株主** 吉村元久 37%（株式会社MY保有分含む）  
国分グループ本社(株) 5.0%  
日本たばこ産業(株) 4.4% 他
- **連結業績** 売上高：34,937百万円  
経常利益：1,323百万円（ともに、2023年2月期）
- **従業員数** 連結：1,349人  
単体： 30人（ともに、2023年2月末現在）
- **事業内容** 食品関連会社の株式を保有する持ち株会社。  
子会社において各種食品の製造・販売。
- **グループ** 主要連結子会社：28社
- **市場** 東証プライム（2884）

## 代表取締役CEO

### 吉村 元久 Motohisa Yoshimura

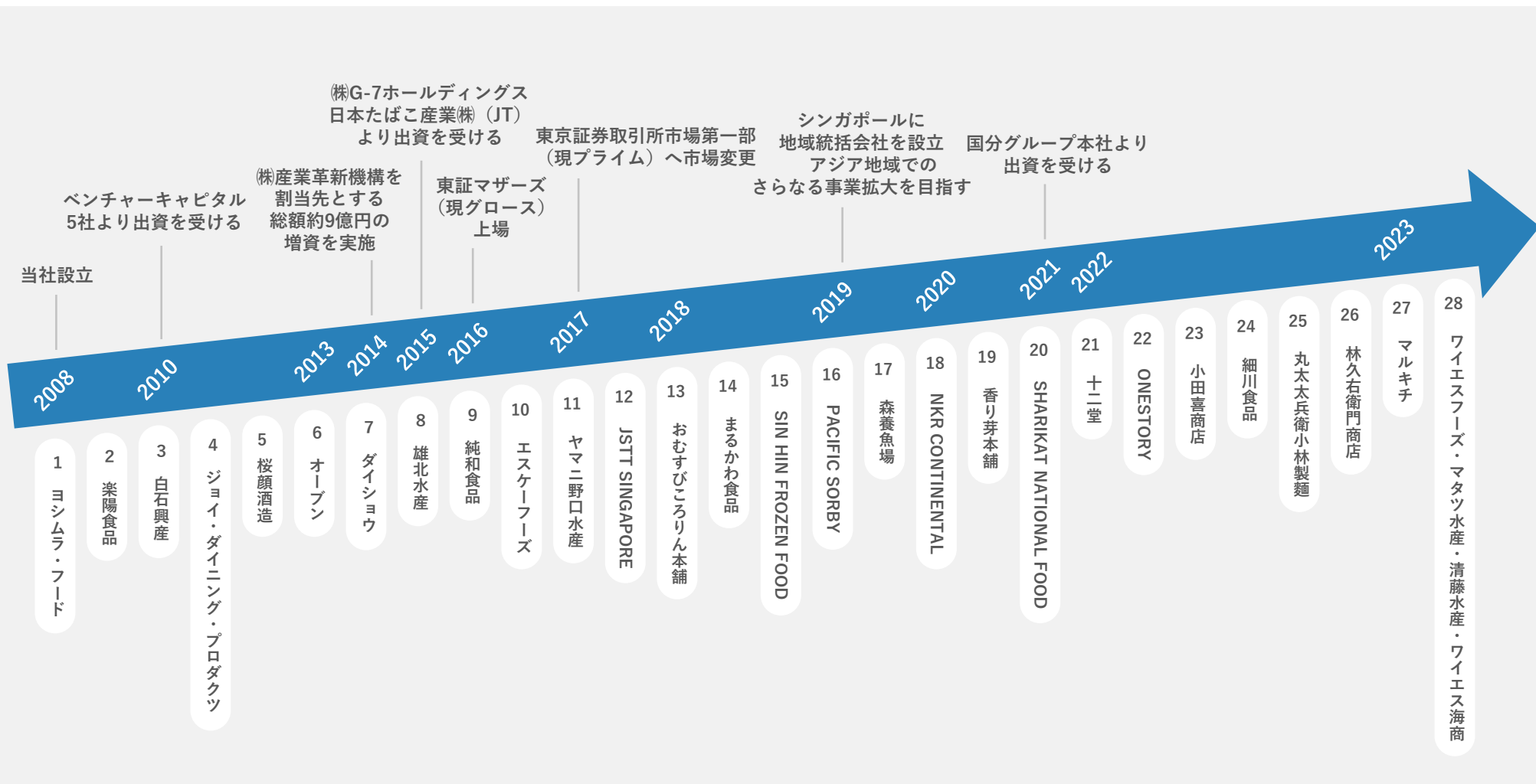


**出身地** 北海道函館市

**最終学歴** 1988年3月 一橋大学商学部卒業  
1994年6月 ペンシルバニア大学大学院  
ウォートン校卒業（MBA）

**職歴** 1988年4月 大和証券株式会社入社  
事業法人部 上場企業の資金調達業務  
1996年7月 同社 資産証券部 課長代理  
資産の証券化業務  
1997年10月 モルガン・スタンレー証券株式会社入社  
事業法人部 エグゼクティブディレクター  
コーポレートファイナンス業務  
2008年3月 当社 代表取締役（現任）

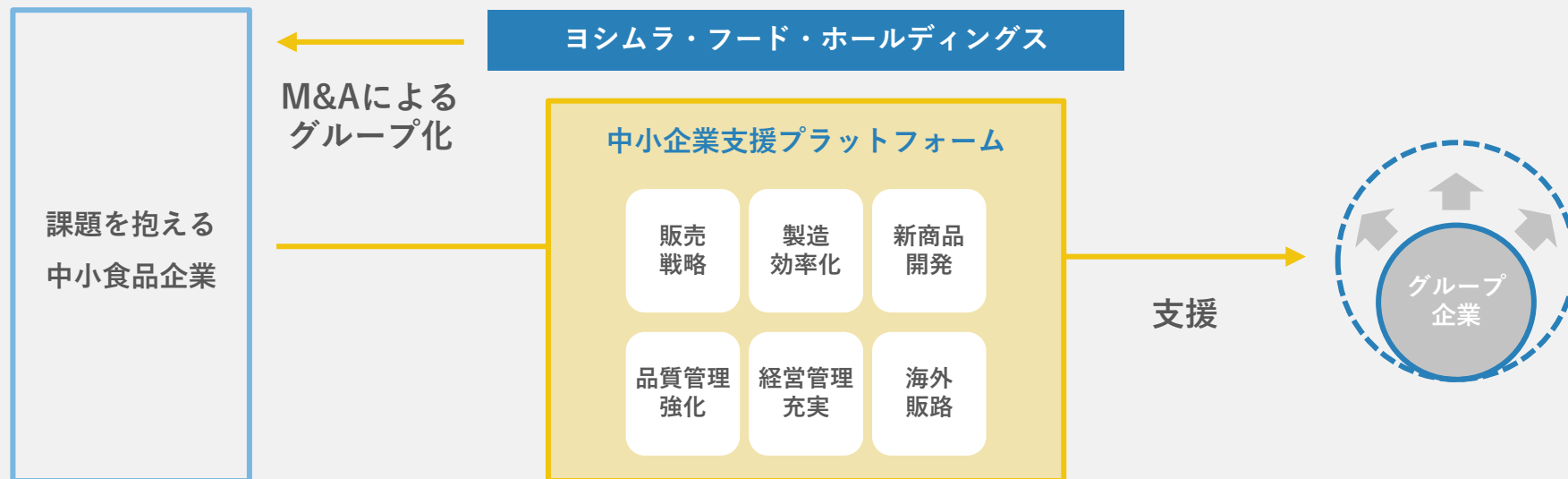
## 中小食品企業のM&Aと 当社ビジネスモデルへの共感企業からの出資の歴史



食品業界におけるユニークなビジネスモデルにより、  
当社は**2つの成長エンジン**を有する

## 1. グループ企業の拡大による成長

## 2. 既存事業の業容拡大による成長



## グループ会社を機能別に統括することで、相互補完・相互成長を図る仕組み

ヨシムラ・フード・ホールディングス

HD統括

【中小企業支援プラットフォーム】

セールス・マーケティング

商品開発

生産管理

購買・物流

品質管理

経営管理

海外販路

販売戦略

商品戦略・新商品

効率化

コストダウン

安心安全

経営効率化

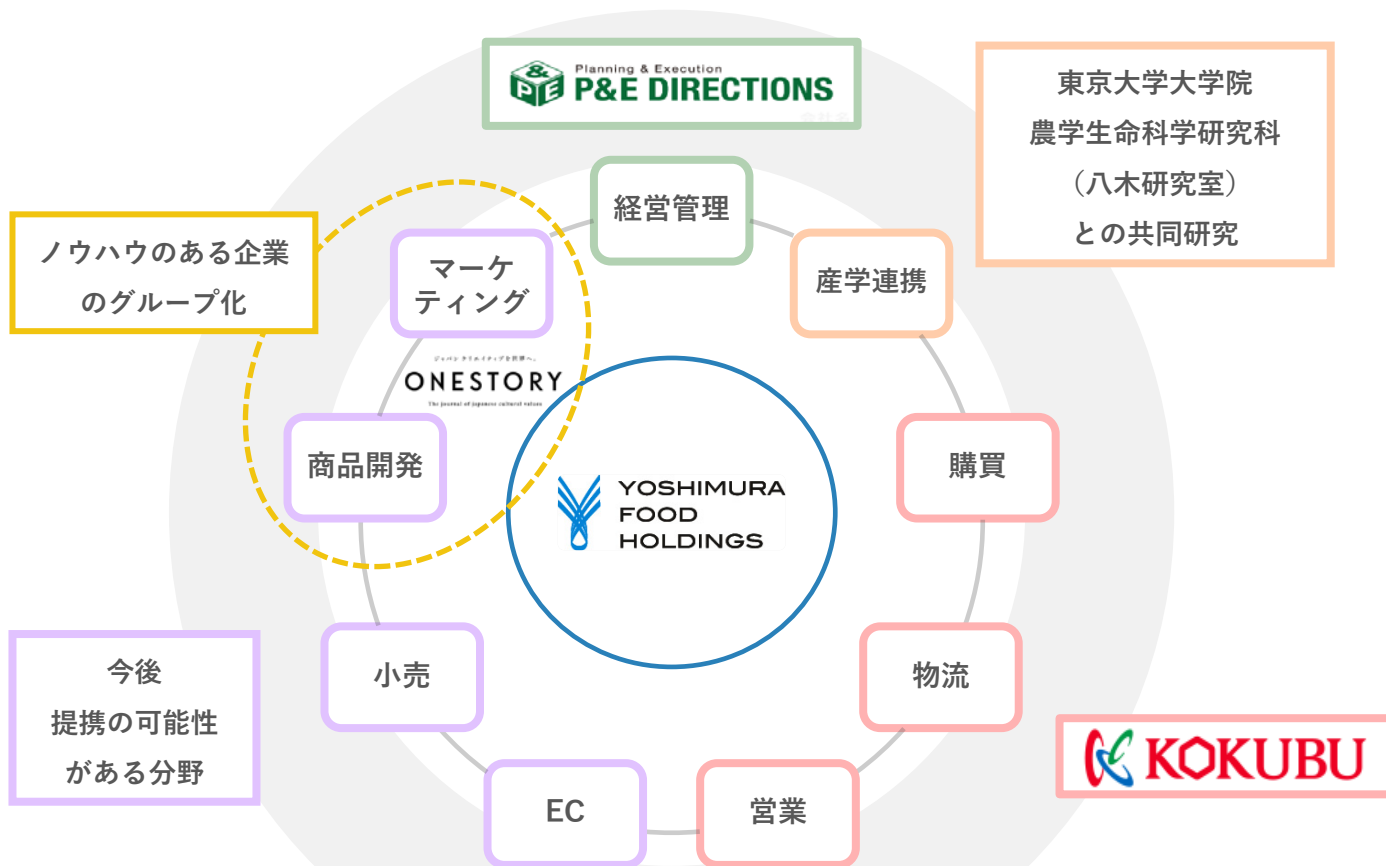
販路拡大・売上増加

傘下のグループ企業

### グループ会社の 有機的な相互補完関係

- 会社の壁を越えて  
機能ごとに横断的組織を構築
- 各機能別の統括責任者が  
グループを横断的に統括
- 各社の持つ強みを  
グループ全体で共有し  
弱みを補い合う

バリューチェーンごとに最適なパートナーとの提携やM&Aを行うことで、より一層の成長を目指す



提携先と一体となり中長期的な成長を実現



後継者不在企業を譲り受け、グループ化して活性化する当社の事業は  
正に**ESG経営そのもの**であり、**ESG経営をより強化することで持続的な成長を実現**



# グループ会社の概要

## 楽陽食品



### シウマイ・餃子

- 国内5か所に工場
- チルドシウマイの生産量は国内トップシェア

## オープン



### 冷凍かきフライ

- 広島産カキを調達する独自ルートを保有
- 鶏なんこつ唐揚等も製造

## 純和食品



### ゼリー

- 高い技術力と彩の国HACCPに認定された高い品質管理能力

## JSTT SINGAPORE



### 寿司

- シンガポールの工場にて寿司等を製造し、シンガポールの大手スーパーへ販売

## 香り芽本舗



### ふりかけ・スープ

- ソフトタイプのわかめふりかけ、わかめスープ等の自社商品からOEMまで、高品質かつ多様な商品を製造

## 白石興産



### 乾 麺

- 創業130年
- 宮城県白石市特産の白石温麺が主力商品

## ダイショウ



### ピーナッツバター

- ピーナッツバターのパイオニアで、主力商品は30年以上続くロングセラー

## エスケーフーズ



### とんかつ

- 「彩の国優良ブランド品」に認証された「むさし野とんかつ」が主力商品

## おむすびころりん本舗



### フリーズドライ

- フリーズドライ加工、フリーズドライ製品の製造、非常食の販売

## 森養魚場



### 鮎 (アユ)

- 岐阜県内3ヵ所において、高品質な鮎を養殖、販売
- 高度な養殖技術を有し、子持ち鮎の安定生産が可能

## 桜顔酒造



### 日本酒

- 昭和48年岩手県の地場の酒蔵10社で設立
- 県内出荷量2位

## 雄北水産



### まぐろ加工品

- 船凍品のまぐろのみを使用した、ねぎとろ、まぐろ切り落としを製造販売

## ヤマニ野口水産



### 水産加工品

- 鮭とばやいくら醤油漬け等北海道の新鮮な原料を使用した水産品を製造

## NKR CONTINENTAL



### 業務用厨房機器販売

- 主にシンガポール及びマレーシアの高級ホテル等へ、業務用厨房機器を設計・製造・施工・販売

## まるかわ食品



### ぎょうざ

- 静岡において、秘伝のレシピによるぎょうざを製造
- 自社店舗には行列が絶えない人気店

# グループ会社の概要

製造事業セグメント

販売事業セグメント

その他

## PACIFIC SORBY



### 水産加工品

- シンガポールの主要なホテルに対し、自社加工した冷凍ロブスター、カニなどを販売

## 細川食品



### かき揚げ

- かき揚げ、チヂミ、赤飯等の冷凍食品製造
- 野菜加工、野菜原体の販売

## マルキチ



### ホタテ

- オホーツク海で獲れた、大粒で肉厚なホタテの加工販売（主に輸出向け）
- サケやカニ等も取り扱う

## ヨシムラ・フード



### 業務用惣菜

- 業務用食材の企画・販売が主、自社で物流を持たず、販売先へ直送するビジネスモデルを構築

## ONESTORY



### マーケティング・コンテンツ開発等

- 地域に眠る「食」や「文化」等を再発掘・再編集し、プレミアムなコンテンツとしてプロデュース

## 十二堂



### ふりかけ

- ソフトふりかけ「梅の実ひじき」等を製造、販売
- 全国に多くのファンを持ち根強い人気を誇る

## 丸太太兵衛小林製麺



### 生麺（ラーメン）

- 生麺、餃子の皮、たれ等調味料の製造・販売
- 得意先は北海道内外のラーメン店

## ワイエスフーズ



### ホタテ

- 噴火湾沿岸で漁獲されたホタテの加工販売
- サケ・いくらやイカ等も取り扱う

## ジョイ・ダイニング・プロダクツ



### 宅配等

- 冷凍食品の企画・販売
- 全国の生活協同組合と直接窓口を保有

## SHARIKAT NATIONAL FOOD



### 不動産賃貸・管理

- シンガポールにおいて食品工場兼食品用低温倉庫を所有し不動産賃貸業を行う

## 小田喜商店



### 栗加工品

- 厳選した良質な地元産の「いわまの栗」を使用した高品質な栗製品を製造・販売

## 林久右衛門商店



### だし

- 明治18年創業経節専門店
- 上質な厳選素材にこだわった削り節、だしの製造加工・販売

## SIN HIN FROZEN FOOD



### 水産品卸

- シンガポールの水産品卸
- 主力商品は、エビ、ホタテ、カニ等

## 本資料の取り扱いについて

- 本資料に記載されている市場環境等の情報に関する記述は、当社が独自で調査を行ったものであり、必ずしもその内容の正確性及び完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来情報に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく不確実性を含んでおります。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査法人による監査を受けていない管理資料が含まれております。